第Ⅴ章

日本医学会の活動

2023 年度日本医学会の活動

門脇　孝*
Takashi Kadowaki
＊日本医学会会長

1．日本医学会総会

1）第 31 回日本医学会総会開催報告

第 31 回日本医学会総会は、春日雅人会頭、宮園浩平・北川昌伸・天谷雅行・栗原敏・新井一・尾﨑治夫ら 6 名の副会頭、門脇孝準備委員長の下、都内 13 の医科大学・大学医学部、４つのナショナルセンター、そして、東京都医師会の全 18 の機関が主務機関となり、2023 年 4 月にメインテーマを「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生 100 年時代を求めて～」として開催された。

医師・医療職者などの有料登録者約 2 万 5 千人に、学部学生や一般市民などの登録者を合わせた計約 4 万人が聴講。また、WEB でも多くのプログラムを実施し、LIVE 配信に加えて、５月～７月にかけてオンデマンド配信をも行った。

なお、2024 年 2 月に本総会の余剰金 2 千 2 百万円を日本医学会に寄付した。

2）「第 32 回日本医学会総会 2027」の準備

第 32 回日本医学会総会（2027 年）は、大阪で開催することとし、その準備状況としては、2024 年 1 月 9 日現在、以下が決定している。

①役員［会頭、副会頭 11 名、準備委員長、顧問 16 名（予定）、参与 7 名（予定）、学術委員会、総務委員会、登録委員会、広報委員会、式典委員会、財務委員会、記録委員会、展示・イベント委員会、ダイバシティ推進委員会、幹事長、準備委員長補佐）、②会期（案）、③会場（案）、④メインテーマ、⑤主務機関、⑥事務局：第 32 回日本医学会総会事務局長北川透［〒 565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学大学院医学系研究科 岸本記念医学史料館（３階）、TEL：06-6875-8181、FAX：06-6875-8180、E-mail：office@isoukai2027-osaka.jp］

2．日本医学会幹事会

第 1 回日本医学会幹事会を、2024 年 2 月 21 日（水）に web 開催した。主な議題は、「2023 年度日本医学会年次報告」「2024 年度日本医学会事業計画」「日本医学会加盟学会」等である。

3. 日本医学会臨時幹事会

6月23日（金）に開催予定であった日本医学会臨時幹事会は時間的制約があったことから、協議事項についてメールにて幹事より事前に了承を得た。主な議題は「日本医学会 役員について」「日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス2023」である。

門田守人会長の逝去を受けて9月25日（月）に「日本医学会 会長選出方法の協議（10/13）及び会長選出（11/10）のための日本医学会臨時評議員会の開催について」、11月10日（金）に「日本医学会 会長候補者の件」、12月15日（金）に「日本医学会 役員について」を議題として、それぞれweb開催した。

4. 日本医学会定例評議員会

第91回日本医学会定例評議員会を、2024年2月21日（水）にweb開催した。主な議題は、「2023年度日本医学会年次報告」「2024年度日本医学会事業計画」「日本医学会加盟学会」「学会の名称変更」「『良質かつ適切なゲノム医療を国民が安心して受けられるようにするための施策の総合的かつ計画的な推進に関する法律』に関する提言」等である。

5. 日本医学会臨時評議員会

日本医学会臨時評議員会を6月23日（金）にweb開催した。主な議題は「日本医学会役員について」、「『日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス2023』案について」である。

門田守人会長の逝去を受けて10月13日（金）に「日本医学会 会長選出方法について」、11月10日（金）に「日本医学会 会長の選出について」を諮り、会長として門脇孝（国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長）先生を、12月15日（金）に「日本医学会 役員の選出について」を諮り、副会長として南学正臣（東京大学大学院医学系研究科教授・腎臓・内分泌内科学）先生、幹事として熊ノ郷淳（大阪大学大学院医学系研究科教授・呼吸器・免疫内科学）先生を選出した。

6. 日本医学会シンポジウム

1）日本医学会シンポジウム

2023年度は2回開催した。新型コロナウイルス感染症を鑑み第162回は無観客にて講演収録の形態で、第163回は現地開催とした。

2）日本医学会シンポジウム企画委員会

標記委員会は8名で構成。シンポジウムの基本方針、テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。2023年度は2回開催した。

3）日本医学会シンポジウム記録

「第 162 回日本医学会シンポジウム」「第 163 回日本医学会シンポジウム」の全容を日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」で映像配信した（https://jams.med.or.jp/）。

4）日本医学会シンポジウムの講演要旨

講演要旨は、日本医師会雑誌に掲載した。

7. 日本医学会公開フォーラム

1）日本医学会公開フォーラム

2023 年度は 2 回開催した。新型コロナウイルス感染症を鑑み第 33 回は無観客にて講演収録の形態で、第 34 回は現地開催とした。

2）日本医学会公開フォーラム企画委員会

標記委員会は 7 名で構成。公開フォーラムの基本方針、テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。2023 年度は 2 回開催した。

3）日本医学会公開フォーラム記録

「第 33 回日本医学会公開フォーラム」「第 34 回日本医学会公開フォーラム」の全容を日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」で映像配信した（https://jams.med.or.jp/）。また、第 34 回日本医学会公開フォーラム「女性医療を取り巻く課題」の映像配信について、全国の大学院医学系研究科長／大学医学部長・医科大学長宛に周知依頼を発出した。

8. 日本医学会協議会

毎月 1 回、会長・副会長、日本医師会担当副会長・常任理事で定期的に開催している。

9. 日本医学会正副会長会議

2024 年より新たに発足した会議で、日本医学会の会長、副会長で 3 ヶ月に一回程度開催している。第 1 回の会議を 2024 年 1 月 26 日に開催し、各委員会の担当や次年度の会議の予定等について協議を行った。

10. 日本医学会医学用語管理委員会

日本医学会医学用語管理委員会は、日本医学会の委員会の中で最も歴史が古い委員会である。委員長：大江和彦他 12 名の委員と協力会社 2 社により構成。2023 年度は 1 回開催した。

11. 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

遺伝学に関する用語は、医学、教育、社会において広い分野で関係することから、日本医学会としては充分な検討の上、プロセスを踏んでコンセンサスを形成することが重要と考え、医学用語管理委員会の下にワーキンググループを設けて検討を行っている。委員は座長：辻省次他７名で構成。2023度は１回開催した。

12. 不適切語を含む医学用語の検討ワーキンググループ

本ワーキンググループは患者や家族にとって辛い響きである「奇形」という用語を別の言葉に変える事を検討するため、2019年10月に医学用語管理委員会の下に発足した「『奇形』含む医学用語の置き換えに関するワーキンググループ」が、「奇形」のみならず、医学用語辞典に含まれる不適切語を検討するため、2022年９月より名称を変更した。座長：森内浩幸他14名で構成。

13. 用語表記基本指針策定ワーキンググループ

2021年度に創設されたワーキンググループで、医学用語における用語の表記方法の基本方針を策定することを目的としている。座長：久具宏司他６名で構成。2023年度は１回開催した。

14. 日本医学会分科会用語委員会

2023年度日本医学会分科会用語委員会は、2024年１月15日（月）にweb開催された。

15. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

医学賞・医学研究奨励賞の選考作業は、日本医学会が日本医師会より委任されているもので、本年度は８月25日（金）に開催された。

委員に加え、本年度は、特例委員として10名が加わった。

結果は、医学賞４名、医学研究奨励賞15名が選考され、11月１日の日本医師会設立記念医学大会において表彰された。なお、医学賞受賞者の論文を日本医師会雑誌（第152巻第10号）に掲載した。

16. 日本医学会加盟検討委員会

13名の委員により構成。2023年度第１回日本医学会加盟検討委員会を12月８日（金）に開催した。今年度の加盟申請の19学会についての審査を慎重に行い、その結果を日本医学会協議会に提出した。

17. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

平成 23 年度に発足した委員会で、日本医学会として遺伝情報の取り扱い、検査の質保証、提供体制などに取り組むことを目的としている。委員長：福嶋義光他 10 名で構成。2023 年度の委員会は 6 回開催された。

「良質かつ適切なゲノム医療を国民が安心して受けられるようにするための施策の総合的且つ計画的な推進に関する法律案」が 2023 年 6 月 16 日に施行されたことから今後、この法律の後に作成される基本計画の発布前に日本医学会から提言を出すことになり、提言案作成のために 4 つのワーキンググループが設置され、各グループでの検討が行われた。

作成された提言案は幹事会、定例評議員会で承認を受けた。今後、日本医学会・日本医学会連合、日本医師会の連名で各省庁に提出の予定である。2024 年 3 月 13 日に日本医師会と合同記者会見を開催した。

18. 日本医学会利益相反委員会

平成 22 年度に発足した「日本医学会臨床部会利益相反委員会」を、平成 24 年度に「日本医学会利益相反委員会」に改称した。委員長：土岐祐一郎他 9 名で構成。2023 年度は 3 回開催した。

19. 日本医学会分科会利益相反会議

第 8 回日本医学会分科会利益相反会議については、2023 年度は開催されなかった。

20. 日本医学雑誌編集者組織委員会

日本医学雑誌編集者組織委員会は、平成 20 年に発足した。委員長:北村聖他 10 名と、オブザーバー 3 名で構成。2023 年度は 1 回開催した。

21. 日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・シンポジウム

第 12 回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第 12 回シンポジウムは、2024 年 2 月 6 日（火）に対面開催した。当日の映像および抄録は、日本医学会ホームページに掲載した。

22. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で、研究倫理のあり方、研究不正問題の予防と発生時の対応について情報を

共有し、各分科会会員の教育啓発に活かすことを目的として、日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会合同で開催している。

2023 年度は、「研究者としての医の倫理とインテグリティー －新たな課題と対応」をメインテーマに 6 月 1 日（木）に無観客収録し、映像と抄録を日本医学会ホームページに掲載した。

23. 日本医学会総会あり方委員会

日本医学会総会のあり方について、中・長期的な展望で検討する委員会で、委員は委員長：髙橋雅英他 13 名で構成。2023 年度は 2 回開催した。

24. 再生医療等レジストリ協議会

再生医療等製品の市販後調査・治験等における患者登録システムの効率的な運用を目的として発足した . 日本医学会分科会、PMDA、日本再生医療学会と連携をとりながら進めている。

25. 移植関係学会合同委員会

1992 年 5 月に発足した移植関係学会合同委員会は厚生労働省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。2023 年度は 2 回開催した。

26. 出生前検査認証制度等運営委員会

NIPT を実施する非認定施設の増加により、適切なカウンセリングが行われないまま妊婦が NIPT を受検するケースが増えたことが問題視され、厚生労働省より本会に標記委員会の設置を依頼された。2021 年 6 月の臨時評議員会にて承認されている。2023 年度は 2 回開催した。

27. 日本医学会 e-News

5 月に No. 7 を、10 月に No. 8 を発行した。今後も年 2 回発行する予定。

28. 情報発信

日本医学会分科会の協力を得て、本会のホームページ（https://jams.med.or.jp/）と分科会ホームページをリンクしている。2021 年 4 月 1 日にリニューアルし、スマートフォンに対応できる形にしている。

29. その他

1）「日本医学会分科会一覧」を 9 月に作成、関係各方面に配付した。
2）「2024 年日本医学会分科会総会一覧」（オンライン版）を 2024 年 1 月に作成した。

目次に戻る